



協会だより

大阪機工塩ビ進出 大阪機工では塩ビパイプ生産を目的とした新会社設立を決定した。これは休止中だった猪名川鋳造工場の敷地、建物を利用して月産20トン生産を当初の目標とし、すでに設備を池貝鉄工へ発注済みとなっている。新会社は初代社長に星住康次郎氏大阪機工社長兼任が就任する。また資本金は当初1,000万円で出発する。

小林氏帰国 中近東訪問中の小林大阪機工営業部長はこのほど帰国した。同氏はイラン、イラクのほかエジプト、エチピアなどの各国も訪問する予定だったがエジプトの紛争で同国およびアフリカ方面への訪問を中止して帰国した。なお、問題となつた紡機7年払いに対するイランとの契約交渉の結果はまだ明らかにされていないが、スフ、綿糸3,200鍾各1セットの5年払い契約に成功したといわれる。

パナマ向け油送船 日立造船因島近く引渡し日立造船因島工場で艀装工事を急いでいたパナマ国ケラミ海運会社発注油送船「サビーナ」(33,000重量トン)は工事完了12月10日引渡された。

ネスクルセイダー17日進水 また同工場では同じくパナマ・トリオ海運会社発注油送船「ネスクルセイダー」(33,000重量トン)の建造を急いでいるが、12月17日進水した。

大電擴大 大阪電気株式会社ではさきの取締役会において現資本金400万円を1,000万円に増資の件を可決したがさる25日をもつて増資払込みを完了した。なお増資金は設備拡充に当てられる。なおかねて本社隣接地約250坪に抵抗溶接機の新工場を建設していたが、近く完成、1月から本格操業に入る。同工場は建坪205坪の鉄骨コンクリート建で、建屋はこのほど完成、日下生産設備に(4,000万円を投じ)を据付けている。なお同工場の完成により同社の抵抗溶接機月産能力は1億円となる。

島津製作異動 島津製作所ではこのほど取締役営業副主幹奥田滋次郎氏の病氣療養にともない次のとおり人事異動を行った。(カソコ内は旧職)

▷営業部門副主幹(東京支店支配人)取締役吉田正直
▷東京支店支配人(器械部長兼務)取締役高嶺朝慶▷
京都営業所レントゲン副部長(レントゲン販売課長)
西川豊蔵

鋼船建造状況③

本海重工—雑3隻、835、輪1隻、7,550、計4隻、8,385
△新潟鉄工—漁1隻、499、雑2隻、1,130、計3隻、1,629△浪速船渠—貨3隻、2,500△新潟造—雑2隻、38。
△西井船渠—油1隻、499、漁1隻、85、計2隻、584△中村造船—貨1隻、425△大阪造船—貨1隻、8,300、漁1隻、8,300、雑1隻、145、輪1隻、3,200、計4隻、19,945△尾道造船—貨2隻、3,295△三菱重工—貨1隻、8,970、輪5隻、71,300、計6隻、85,270△佐世保船舶—漁1隻、7,500△佐野安船渠—貨4隻、13,175、客2隻、650、輪1隻、10,500、計7隻、24,325△瀬戸出造船—油1隻、1,530△塩山船渠—油1隻、1,400、漁1隻、525、輪1隻、40、計3隻、1,965△下田船渠—油1隻、240△鶴見造船—油1隻、110△土佐造船—漁1隻、45△高沢工業—雑3隻、57△徳島造船—貨1隻、499、油1隻、425、漁2隻、38、計4隻、962△田熊造船—貨1隻、830△太平工業—貨1隻、180△浦賀船渠浦賀—貨1隻、7,550、輪4隻、37,75、計5隻、45,300、警2隻、660△同横浜—雑1隻、30△宇品造船—貨2隻、879△白杵鉄工—漁5隻、1,275△渡辺製鋼—雑1隻3△山西造船—漁3隻640△横浜コソト—雑4隻、60△山本造船—漁1隻230。

月刊 生産と技術

第8巻 昭和31年12月15日印刷
第10～12号 昭和31年12月20日発行

特価100円(送料8円)

1年概算丁共1,000円

編集兼 本多武徳
発行人

編集室 大阪市都島区東野田9丁目
大阪大学工学部 八浜研究室内
大阪市北区中之島4丁目
大阪大学理学部 赤堀研究室内
印刷人 西井幾蔵
大阪市北区川崎町37
印刷所 株式会社ナニワ印刷所

発行所

大阪市都島区東野田9丁目
大阪大学工学部構内

社団法人 生産技術振興協会

電話堀川(35) 6351～7

禁 転 載